

.....

館園名 : 下関市立考古博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1995年05月13日

所在地

- ・ 〒751-0866 山口県下関市大字綾羅木字岡 454

公式サイト

- ・ <http://www.koukohaku.shimonoseki.yamaguchi.jp/>

設立主体

- ・ 下関市

運営主体

- ・ 下関市

設立目的

- ・ 史跡や博物館を一般市民の学習の場、研究の場として提供し、来館者が積極的に参加し、楽しみながら学習する博物館（ワーキングミュージアム）を目指す。

展示概要

- ・ 弥生時代から古墳時代を中心に、市内からの出土品を約 500 点展示。
- ・ 古代に関するパソコンクイズや土器のジグソーパズル等の設置。
- ・ 屋外に古墳や竪穴式住居を復元。

活動概要

- ・ 毎年 1 回企画展、年 3 回小企画展を開催。
- ・ 考古博物館探検・古代こども体験教室、土笛、勾玉作り教室、バスハイクなどを実施。
- ・ 紀要、年報、博物館だよりなどを発行。
- ・ 綾羅木郷遺跡出土品の整理。

延床面積

- ・ 2,663.65 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 9 名（2004 年 12 月現在）

年間運営費

- ・ 118,352,000 円（2003 年度）

総資料点数

- ・ 49,274 点（2004 年 12 月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：下関市立考古博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 博物館活動のいっそうの充実と、利用者へのサービスの推進を図るとともに、地域の生涯学習の進展や地域文化の向上に資することを目的としている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 8名（2004年12月現在）
- ・ 男性：6名、女性：2名
- ・ 平均年齢66歳：男性68歳、女性58歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：下関市立博物館
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ① 博物館内外の展示案内説明。
- ② 博物館各種事業等の補助。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ なし。

関連する出版物

- ・ なし。

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート 活動名：①展示案内説明・各種事業等の補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 8名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 博物館内外の展示案内説明。
- ・ 博物館各種の事業等の補助。

◇活動日

- ・ 任意（行事予定表を毎月送付し、ボランティアの都合のよい日に活動してもらう）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 博物館刊行物の提供。 予算・ボランティア室…なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア連絡会（年1回）。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報…前年度に当館が主催する「ミュージアムセミナー」を受講された方を対象に募集。
- ・ 人数選考の基準…なし。
- ・ 時期…年度末。
- ・ 任期…1年間（更新可）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研究2回・内容…当館内外の展示説明。
- ・ 講師…当館学芸員。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費・食費…なし 保険…市民活動災害補償保険の範囲内において補償される。

◇評価

- ・ 現在のところなし。

◇課題と展望

- ・ ボランティアの控室が確保出来ない。

◇その他

- ・ なし。

.....

館園名 : 周南市徳山動物園

1. 施設の概要

開館年月日

・ 1960 年 03 月 20 日

所在地

・ 〒745-0874 山口県周南市大字徳山 5 8 4 6

公式サイト

・ <http://www.city.shunan.yamaguchi.jp/hp/dobutsuen/>

設立主体

・ 周南市

運営主体

・ 周南市

設立目的

・ 旧徳山市の市制 25 周年を記念して、教育・文化の向上及び観光の一環として設立された。
・

展示概要

・ おもにケージ型の動物舎を配置することで無理なく多くの動物たちをみて回ることができる。また、間近に動物を観察できるように工夫されている。
・

活動概要

・ 第二世代から第三世代の動物園としてレクリエーション施設として活用されてきたが、近年は市民参加や生涯学習の場として地域に根ざした動物園として活動をしている。
・

延床面積

・ 約 50,000 m²

全職員数

・ 19 人

年間運営費

・ 約 20 千万円 (2003 年度)

総資料点数

・ 132 種 587 点

その他

2. ボランティア活動 名称：周南ふれんZOO

活動目的・経緯

- ・ 市民と行政とが協働しながら、より市民ニーズにマッチした動物園教育普及事業の実現を目指していく目的で2004年4月から動物園学習支援ボランティアとして募集を始めた。
- ・ その後研修を経て2004年10月から活動を開始している。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 14名（2004年12月現在）
- ・ 男性1名、女性13名
- ・ 平均年齢 31.9歳 : 男性 31歳、女性 32歳

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 動物園技術係 担当人数：常勤 3名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①動物とのふれあい活動、②園内行事の補助。
- ・

活動その他

- ・ 園により運営。ただし、活動を円滑に行うため、ボランティアの中からリーダーを1名、サブリーダーを2名委嘱し、ボランティア全体の取りまとめをしている。
- ・ 月に1回、例会を行う。
- ・

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ なし

館外組織（NPO等）との連携

- ・ なし

活動個別シート

◇活動開始年

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 14 名 (2004 年 12 月現在)

◇活動内容

- ・ ①動物ふれあいコーナーの開催・補助。
- ・ ②園内行事の補助。

◇活動日

- ・ 4・5・11月の土曜日・2～5月、8～11月の日曜日・祝日。
- ・ そのほか行事のある日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 研修を行うために 15 万円ぐらい。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 都合のつく日に調整して行う。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月に 1 回例会を行う。
- ・ そのほか、必要などときにはメール・電話・FAXなどで連絡を取り合う。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 公募 (市広報、新聞、テレビ、ラジオ、HP、チラシなど)
- ・ 時期 4 月 14 日～5 月 25 日
- ・ 選考 15 名程度、18 歳以上、動物園ボランティアに対する思い、考えについての小論。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 講義：動物園の学習活動、動物園学、動物由来感染症、体験型学習法。
- ・ 実修：飼育、ふれあい、サマースクール。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ユニフォーム、帽子の貸与。
- ・ 交通費・食費等は支給しない。
- ・ 保険加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・
- ・

◇その他

- ・ 14 名の応募があり全員を受け入れた。現在も全員活動している。

.....
館園名 : 田布施町郷土館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1989年11月03日

所在地

・〒742-1511 山口県熊毛郡田布施町下田布施 875-6

公式サイト

・<http://>

設立主体

・田布施町

運営主体

・田布施町教育委員会

設立目的

・当館は、郷土が生んだ世界の政治家、岸信介・佐藤栄作兄弟宰相を中心に、本町にゆかりのある人物の遺品・遺作等を展示公開することによって、先人の偉業・遺徳を偲ぶとともに、山口県最古と推定される国森古墳、県下最大規模の巨石古墳後井第1号墳をはじめ町内で確認された古墳・遺跡からの出土遺物や、民俗資料等の文化遺産の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、町民文化の向上と時代を担う青少年への励ましの糧に資することを目的として設置されました。

展示概要

・岸信介・佐藤栄作遺品、考古資料、文化資料、民俗資料（以上常設）。

活動概要

・刊行事業 郷土館叢書1～9集、田布施町郷土館研究紀要（年刊）、企画展（随時）。

延床面積

・720 m²

全職員数（常勤職員）

・1名（2004年12月現在）

年間運営費

・10,640,000円（2003年度）

総資料点数

・8,264点（2004年3月現在）

施設その他

・鉄筋コンクリート2階建て、敷地面積1,209 m²。

2. ボランティア活動 名称：田布施町郷土館友の会

活動目的・経緯

- ・ 田布施町郷土館友の会が発会したのは、平成 11 年春のことであった。当館は委託の館長とパート 1 名で運営していることもあって、付加価値をつけた活動をするためには、友の会に負うところが大きい。会則には「この会は田布施町郷土館が関わる事業を円滑に推進するためのサポート集団とする」としている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 41 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性 31 名、女性：10 名
- ・ 平均年齢 不明 歳：男性 不明 歳、女性 不明 歳

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：田布施町郷土館
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（臨時職員）1 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 考古・発掘。
- ・ 美術、紙芝居、生花、音楽。
- ・ 動物、植物。
- ・ 民俗、歴史。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ 郷土館叢書 田布施町郷土館研究紀要 田布施地方史研究会会誌

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・1999年

◇活動人数

- ・41名（2004年12月現在）

◇活動内容

・（1）考古・発掘

田布施町城は、県下有数の遺跡や古墳の密集地域と言われている。よき指導者を得て平成11年7・8月の土・日曜日に高地性遺跡大崩遺跡の遺構確認調査を実施し、次いで12年7・8月の土・日曜日に高地性遺跡木地遺跡の遺構確認調査を実施、いずれも調査報告書を作成した。さらに13年10～12月の土・日曜日に納蔵原2号墳の発掘調査を実施、県下最大級の横穴式石室を有することが判明し、翌14年7・8月の土・日曜日に第2次発掘調査を実施、現地説明会を開催するとともに、調査報告書を刊行することができた。

・（2）美術

民俗資料展示室開設に際し、掲出する樺蠟や板海苔の製造工程の下絵描きをしていただき、また田布施地方の民話を紙芝居にする際の原画描きをお願いした。

・（3）紙芝居

田布施地方に伝承されてきた民話を子供達に語り伝えようと、よき指導者に恵まれて平成15年4月郷土館叢書第4集『田布施地方の口承文芸 民話・民謡・ことわざ』をもとに手作り紙芝居「石城山の山姥」を制作、桜祭りで初上演を行った。これが好評だったこともあり、さらに10月に第2作「おさん狐」を制作、コスモス祭りで初上演を行った。以後、一般に貸出しするとともに、出前公演を行っている。

・（4）生花

発会以来、駐車場の一角に四季折々の花を植えていただいたり、町紹介室に生花を生けていただくなど、郷土館の環境美化のため御協力をいただいた。

・（5）音楽

田布施地方の民謡採集時のテープを楽譜に起こす作業を行っていただいた。

・（6）動物

平成13年3月田布施町指定天然記念物となった「小教司のギフチョウ」の実態調査や産卵場所の環境整備、また現地パトロールなどの保護活動をはじめ地域住民に対する啓蒙活動などに御協力を頂いた。

・（7）歴史

岸・佐藤両家の系譜の作成や館蔵品である岸家文書・水井家文書・吉田家文書などを解読していただき『田布施町郷土館研究紀要』に収録、また平成13年には研究紀要別冊として『岸信介幽の詩歌集 耐雪』を刊行した。さらに「なのはなフェスタ」などのイベント会場における展示物の説明要員を兼ねた警備もお願いした。なお、現在予定中のものとしては大内弘直館跡の実測調査、田布施の民話紙芝居第3作「雪姫物語」の制作などがある。

◇活動日

- ・必要な時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・なし。

◇運営（シフト 等）

- ・事務局長は館長、事務局員は郷土館の臨時職員。

◇交流（情報、組織 等）

- ・田布施町郷土館研究紀要及び文化情報の送付。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・「広報たぶせ」及び新聞紙上にて募集。任期・人数等特になし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・実施に際し、適宜研修会・説明会を行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・特になし。

◇評価

- ・良く活動していると思っています。

◇課題と展望

- ・登録のみで参加実績のない会員の扱いを今後どうするか。

◇その他

- ・当館は無料館であることから、会員に対する特典として入館料免除のような方法をとることができない。現在のところ、文化財情報の発信と年刊の『田布施町郷土館研究紀要』を贈呈することになっている。ともあれ、友の会は同好有志のボランティア集団であり、いずれの場合も和気あいあい、お互いに楽しみながらそれぞれ志す分野の生涯学習といった感が強い。町内外会員諸氏の絶大なる御協力に感謝しながら、息の長い仕事にしたいものと考えているところである。

.....

館園名 : 山口県立美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1979年10月07日

所在地

- ・ 〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1

公式サイト

- ・ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/kenbi>

設立主体

- ・ 山口県

運営主体

- ・ 山口県

設立目的

- ・ 山口県の特徴を發揮する郷土色豊かな美術館、県民が参加する開かれた美術館、を基本方針とする。

展示概要

- ・ 雪舟作品、香月泰男作品シベリアシリーズ、小林和作の作品およびコレクション、狩野芳崖をはじめとする近代日本美術界で活躍した山口県関係作家の代表作品、郷土工芸萩焼、赤間硯などを収集展示。

活動概要

- ・ 自主企画展、公募展、巡回展、絵画、彫刻、工芸などの実技講座や講演、美術講座、移動美術展を開催。

延床面積

- ・ 6,679.78 m²

全職員数

- ・ 12人（他に、臨時職員5人）

年間運営費

- ・

総資料点数

- ・ 3,500点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2002年、美術館活動をサポートする組織として設置。1年間の養成講座を経て、ボランティアとして活動始める。
- ・ 現在（2005年1月）、1期・2期生が活動中。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 40名（2005年）
- ・ 男性：4名、女性：36名（2005年）
- ・ 平均年齢38.6歳：男性38.2歳、女性38.6歳（2005年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：普及課 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①県美展のサポート、②展覧会サポート班、③ギャラリーツアー、④所蔵作品の解説、⑤ホームページ班、⑥広報班。

活動その他

- ・ 毎週土曜日に研修を受ける。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①県美展のサポート

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 40 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ (1) ポスター原画公募の作品選考。
- ・ (2) 作品搬入、審査会の補助。
- ・ (3) パンフレットへの原稿執筆。
- ・ (4) 会期中のギャラリートークの実施 (土曜日のみ)。
- ・ (5) 来館者参加の企画を実施。

(2004 年度は、展示作品に対して、来館者がオリジナルの賞名をつけ、作品にコメントする企画を実施)

◇活動日

- ・ 土曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 文房具支給。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 活動可能な人が参加。
- ・ (4) は教育普及班、(5) は展覧会サポート班が活動を担当。

◇交流 (情報、組織 等)

・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ (1) については、県立大学のビジュアルデザインの先生が指導。
- ・ (2) については、2002、2003 年度に、美術品運送業者による講習を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

・

◇評価

- ・ (5) の活動が、来館者、出品者奏法からとても好評。

◇課題と展望

- ・ ギャラリートークの広報がいきわたらず、の参加者が少ないので、広報の方法を考え直す必要がある。

◇その他

活動個別シート ②展覧会サポート班

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 12 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 展覧会ごとに、展示内容をより理解することができるような情報提供をする。
(例：仏像についてのパンフレット、作品の人気投票など)

◇活動日

- ・ 土曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 文房具、材料 (紙・ハレパネなど) を支給。
- ・ 書籍購入。

◇運営 (シフト 等)

・

◇交流 (情報、組織 等)

・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 展覧会についてのレクチャーを行う。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

・

◇評価

- ・ 毎回趣向を変えた企画を行い、来館者にとっても好評。

◇課題と展望

- ・ 活動の性格上しかたないことだが、活動が単発のイベントとなり、蓄積が難しい。

◇その他

・

活動個別シート ③ギャラリーツアー

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 11 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 企画展示を対象に、子ども向けのギャラリーツアーを実施。

◇活動日

- ・ 土曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 文房具などを支給。

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ 教員経験者などが多く、簡単な作業を取り入れたツアーになっている。

◇課題と展望

- ・ 実際に子どもを相手にして動けるメンバーが限られているので、負担が大きくなる傾向がある。

◇その他

- ・

活動個別シート ④所蔵作品の解説

◇活動開始年

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 8 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 常設展示の作品解説

◇活動日

- ・ 土曜日の 13 : 00～。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 書籍の閲覧。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 1 回に 3 名程度で担当。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 研修は随時実施。
- ・ 常設展示作品のレクチャー。
- ・ 自主的に、または学芸員立会いのもと、解説の練習を行う。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 書籍の閲覧が可能。

◇評価

- ・ 自主的に勉強して、担当する作家、領域をどんどん増やしているので、意欲的な取り組みがみられる。
- ・ 解説の内容が分かり易くてよい。

◇課題と展望

- ・ 自分の言葉で解説できるようになることが目標。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤ホームページ班

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 5 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ホームページのデータ制作。

◇活動日

- ・ 随時活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 2003 年にホームページの全面改装を行ったが、その後のデータ更新が難しい。
- ・ 遠隔地在住か、土曜日が勤務の人が中心になっているため、交流が出来ない。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑥広報班

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 4 名 (2003 年)

◇活動内容

- ・ グループ別に活動しているボランティアが、お互いの活動内容を共有するための広報紙を制作。

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室、コピー機あり。
- ・ 用紙を支給。

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ 2004 年からは、ほぼ 2 ヶ月ごとに発行され、広報紙 (交流誌) としての機能を果たすようになってきている。

◇課題と展望

- ・ メンバーに、遠隔地在住、土曜日勤務の人が多いため、少人数の中心メンバーに負担がかかりがちである。

◇その他

- ・